

「第10回 GISコミュニティフォーラム」に参加しました

平成26年5月29日（木）～30日（金）に東京ミッドタウン ホール&カンファレンスにて開催された「第10回 GIS コミュニティフォーラム」に参加しました。

GISとは、地理情報システム（Geographic Information System）のことで、位置や空間に関する様々な情報をコンピュータを用いて重ね合わせ、情報の分析・解析・視覚的表示（見える化）をすることにより、地理的課題解決へのアプローチを行うためのシステムです。近年では保健医療分野においてもGISの活用が注目され始めており、本学では保健医療GISの活用を全国に先駆けて取り組んでおります。

「GIS コミュニティフォーラム」では、国内各分野のGISユーザーが一堂に集まり、事例発表やポスター展示を通して、GISによって課題解決を行った事例や最新技術の紹介がありました。現在はスマートフォン、タブレットPC、クラウドに代表される情報技術の発達が目覚ましい時代であり、GISもそれらを取り入れたものへと日々進化を続けています。

地域の医療・福祉の課題に対応する方法として、住民個人の疾病だけではなく、住民の暮らしぶり、さらに地域の地理や生活環境を総合的に診断して課題を発見・解決する「地域診断」の考え方が重要です。GISはこの地域診断に無くてはならない道具の一つです。本事業が目標とする「地域の課題に柔軟に対応する力を持つ」医療人を育てるために、彼らにとって強力な道具となるGISをいかに使いこなして教えるか、私たちも日々勉強を続けなければいけないと感じました。

